

財政規律の「たが」が外れた過去最大の予算 三年連続の二〇〇兆円超予算

財政問題研究会

概況 コロナ対策により、九年連続で過去最大を更新

国難の中での予算編成

二〇二〇年一月二二日、二〇二一年度予算が閣議決定された。菅内閣が発定して初めて編成された当初予算である。二〇一九年一月に中国で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されて世界中にコロナウイルス感染症が拡大し、国内では「緊急事態宣言」が発出されるなど社会・経済活動が大きく制約を受けた。二〇二〇年四月六月期の実質成長率はリーマン・ショック時を超える年率二九・二%の落ち込みを見せ、「国難とも言うべき局面」の中で予算編成が進められた。編成スケジュールもずれこんだ。例年より一ヵ月遅れて七月に決定された「骨

太の方針二〇二〇」は感染症への対応を最重要課題として掲げ、「感染拡大防止と社会経済活動の両立を図っていく」方針を示した。感染症のリスクを前提とした「ウイズコロナ」の時期にあつて、オンラインやデジタル化による「新たな日常」の実現もめざしている。

二〇二一年度予算概算要求も例年より一ヵ月遅れた九月末が締切とされ、一〇五・四兆円が要求・要望された。新型コロナ対策に要する経費はこれとは別に事項要求とされ、予算規模の大幅な拡大が懸念されていた。すでに第一次と第二次の補正によって、二〇二〇年度一般会計予算は当初の一〇二・七兆円から一六〇・三兆円に膨らみ、翌年度の予算編成で

どれだけ圧縮できるかが焦点となった。
コロナ対策で膨張する予算

昨年は新型コロナ対策のため、四月に事業規模一一七・一兆円の緊急経済対策第二次補正予算等でも事業規模一一七・一兆円の対策が取られた。さらに昨年四月から五月の感染拡大の第一波、七月から九月の第二波、十一月以降の第三波とも言うべき感染拡大が続く中、十一月一日、菅総理は追加経済対策の策定を指示、裏付けとなる第三次補正予算と二〇二一年度当初予算を一体で編成することとした。

年末の二月八日には事業規模七三・六兆円の総合経済対策がまとめられ、財政的な裏付けとなる第三次補正（一般会計歳出一五・四兆円）が二月一五日に閣議決定された。二月二二日には、「一五ヵ月予算」として一体的に編成された二〇二一年度当初予算が閣議決定された。

二〇二一年度予算は一般会計歳出総額が一〇六・六兆円（対前年度当初比三・八%増）と、当初予算として三年連続で一〇〇兆円を超え、九年連続で過去最大を更新した。新たに当初予算で新型コロナウイルス感染症対策予備費五兆円を計上したために、公共事業関係費や文教・

歳入は税収が五七・四兆円（同九・五%減）、その他収入が五・六兆円（同二・五%減）と減少する一方、国債発行額は四三・六兆円（同三・九%増）と一年ぶりに増加に転じる。二〇二一年度予算は、団塊の世代が七五歳に入り始める二〇二二年をにらんだ

新経済・財政再生計画の「基盤強化期間（三年間）」の最終年度の予算である。また、ポストコロナ・ウイズコロナの経済構造の転換を織り込んだ初めての当初予算でもある。節目であるべき予算がコロナ対策にかこつけて財政規律が置き去りにされた感がある。

特集 コロナ禍のもとでの国・自治体の予算編成

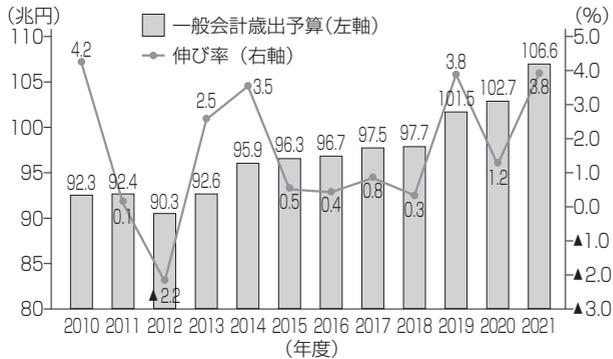
科学振興費など主要経費の多くが対前年度比で減少に転じた。消費税率一〇%への引上げによる需要の落ち込みを緩和するため、二〇一九年度に二・〇兆円、二〇二〇年度に一・八兆円を当初予算に計上していた「臨時・特別の措置」を今回は見送ったにもかかわらず、前年度の規模を上回った。

● 2021年度予算のフレーム(当初ベース) (単位: 億円、%)

年度	2020年度	2021年度	増減額	前年度比(%)
一般歳出	617,184	669,020	51,837	8.4
社会保障関係費	356,914	358,421	1,507	0.4
社会保障関係費以外	260,269	260,599	330	0.1
新型コロナウイルス感染症対策予備費	-	50,000	50,000	皆増
歳出				
地方交付税交付金等	158,093	159,489	1,396	0.9
国債費	233,515	237,588	4,072	1.7
うち債務償還費(交付国債分を除く)	145,394	147,317	1,923	1.3
うち利払費	83,904	85,036	1,132	1.3
臨時・特別の措置	17,788	-	▲17,788	皆減
計	1,026,580	1,066,097	39,517	3.8
歳入				
税収	635,130	574,480	▲60,650	▲9.5
その他収入	65,888	55,647	▲10,241	▲15.5
公債金(歳出と税収等との差額)	325,562	435,970	110,408	33.9
債務償還費相当分(交付国債分を除く)	145,394	147,317	1,923	1.3
利払費相当分	83,904	85,036	1,132	1.3
政策的支出による赤字(基礎的財政収支赤字)相当分	96,264	203,617	107,353	111.5
計	1,026,580	1,066,097	39,517	3.8

注: 「社会保障関係費」、「社会保障関係費以外」の2020年度予算は、2021年度予算との比較対照のために組替えをしている。
備考: 建設公債 71,100 (2020年度) → 63,410 (2021年度)
特例公債 254,462 (2020年度) → 372,560 (2021年度)
出所: 財務省資料より筆者作成

● 一般会計歳出予算(当初ベース)の規模と伸び率の推移



出所: 財務省「予算の説明」等より筆者作成